

展示品の
みどころ

忍性骨蔵器
(額安寺五輪塔納置品)

重要文化財
銅製 金寿造
総高29.7cm 胴径15.3cm
鎌倉時代 嘉元元年(1303)
文化庁



「忍性展」の最重要作品の一つ。
まさに忍性その人の遺骨を納めた
容器である。

忍性は鎌倉・極楽寺の長老として

87歳で波乱に満ちた生涯を閉じた。忍性の伝記『性公大徳譜』によれば、臨終においては律僧の正装である大衣を着し、口に真言を唱え、手に印を結び、静かに釈迦像に直面していたという。その数日前のことであろうが、鎌倉を襲った強烈な日照りに対して身命をかけた祈りを捧げ雨乞いを成功させている。世のため民衆のために尽くした、まっすぐな忍性らしい最期であった。

本品は銅製の水瓶形で、胴部には24行、全347字の銘文が刻まれている。忍性の父は伴氏、母は榎氏という出自にはじまり、16歳で出家、東大寺戒壇院や西大寺、家原寺などで戒を授かり、慈悲をもって民衆を諭した人柄をうたい、晩年は東大寺や四天王寺の大勧進(復興責任者)を勤めたことなどが記されている。遺言により遺骨は三分され、ゆかりの三寺に納められた。一つは後半生の拠点であり、臨終の場となった鎌倉の極楽寺。二つ目は民衆救済の大先輩、行基の墓がある竹林寺(奈良県生駒市)。三つ目は出家して最初に入った額安寺(同大和郡山田市)で、本品はこれにあたる。総高2m90cmの巨大な石造五輪塔の地下から昭和57年に発見された。現在、三つすべての骨蔵器が発見されているが、不思議なことに三つが一所に並ぶことはなかった。忍性の生涯をたどる大展示会の場で、史上初の集合が叶うあたり、やはり忍性さんてドラマティックな人だな、と思う。

吉澤 悟(当館学芸部列品室長)

◆7月23日～9月19日
生誕800年記念特別展「忍性-救済に捧げた生涯-」にて展示

毘沙門天立像

木造 彩色・漆箔
像高99.8cm
平安時代(12世紀)
滋賀 高尾地藏堂



高尾地藏堂の所在する滋賀県甲賀市土山町鮎河は、滋賀・岐阜・三重三県の境界に連なる鈴鹿山脈の西麓に抱かれた山深い里である。この地に伝来した木造毘沙門天立像は、『甲賀市史』第2巻(平成24年2月刊行)のための事前調査によって見いだされた。発見時には表面が分厚い後補の彩色で覆われ、また足もとの邪鬼は矧ぎ目が完全に糊離れし、かろうじて針金を巻いて四分五裂するのを防いでいる状態であった。両手先や光背の一部をはじめ亡失した部分も多く、また像本体についても各所に隙間が空いて危険な状況であった。

幸い本像は当館に寄託され、ご来館の皆さまから頂戴した寄付金を用いて、奈良国立博物館内の文化財保存修理所において(公財)美術院の技師による保存修理が行われた。作業は、まず修理前の状況を写真と調査に記録した後、全部材の解体を行い、表面の後補彩色の除去を経て、欠失する部材の新補、および各部材の慎重な組み付けという順序で進行した。その過程で、顔面を中心に肉身部には淡紅色の彩色が、甲冑の一部には漆箔が残されていることもわかり、当初の仕上げを復元的に考えることが可能となった。

幸い本像は当館に寄託され、ご来館の皆さまから頂戴した寄付金を用いて、奈良国立博物館内の文化財保存修理所において(公財)美術院の技師による保存修理が行われた。作業は、まず修理前の状況を写真と調査に記録した後、全部材の解体を行い、表面の後補彩色の除去を経て、欠失する部材の新補、および各部材の慎重な組み付けという順序で進行した。その過程で、顔面を中心に肉身部には淡紅色の彩色が、甲冑の一部には漆箔が残されていることもわかり、当初の仕上げを復元的に考えることが可能となった。

仏敵に対する威嚇の相を表す武装神将形ながら、忿怒の表情をあまり強調せず、しなやかな姿体や着衣の繊細な表現が見どころであり、典雅さの充溢する王朝風の作品といえる。院政期に京都を中心に活動した円派ないし院派に属する仏師の作と推測される。伝来に関する情報を欠くが、近江一国に広がっていた撰関家領と関わるのではないかという想像も捨てがたい。

岩田 茂樹(当館学芸部上席研究員)

◆6月28日～9月19日 名品展「珠玉の仏たち」にて展示

開館日時(7月～9月)

■開館時間/午前9時30分～午後5時
・特別展「忍性」会期中は午後6時まで、毎週金曜日と8月6日(土)～15日(月)は午後7時まで
※入館は、閉館の30分前まで

■休館日/毎週月曜日
(ただし、7月18日、8月8日、15日、9月19日は開館)、
7月19日(火)、9月20日(火)

●無料観覧日(名品展のみ)
・9月19日(敬老の日)

●=国宝、◎=重要文化財

観覧料金 特別展「忍性」

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人(当日)	1,300円	900円	500円
団体・前売	1,100円	700円	300円

※団体は20名以上です。 ※前売券の販売は7月22日(金)まで。
※障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。
※特別展観覧券で名品展も観覧できます。

観覧料金 名品展・特別陳列

	一般	大学生	高校生以下
個人	520円	260円	無料
団体	410円	210円	無料

※団体は20名以上です。
※高校生以下および18歳未満の方、満70歳以上の方、
障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。
※毎月22日にご夫婦で観覧される方は、各半額となります。
※中学生以下の方と一緒に観覧される方は、団体料金を適用します。
(子どもといっしょ割引)



[交通案内] 近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通「市内循環」バス外回り「氷室神社・国立博物館」下車

※当館には駐車スペースがございませんので最寄りの県営駐車場等(有料)をご利用ください。